

白 石 市 報

しるいし

NO.177

5

49年

編集と発行白石市役所総務課・宮城県白石市字桜小路35Tel(5)2111〒989-02昭和35年11月7日第三種郵便物認可1部2円

史蹟をたずねて



少納言喜多子の墓

街の話題



◆夢のかけ橋完成◆

国鉄東北本線で、二分されておった白石の市街地に、駅東側地区の住民待望の構内跨線人道橋が、立派に完成しました。

通勤、通学者も、買物する主婦の方も、街に出るのに近くなったと大喜び……



街の話題

小原温泉にむかう国道一三三号線に沿う蔵本滝の観音堂の小丘上の奥まった境内の雑木林の中に初代片倉小十郎景綱の姉少納言喜多子の墓がある。伊達政宗の保母であり、春日局（三代将軍徳川家光乳母）、政岡（四代仙仙藩主綱村の母三沢初子）と並んで三大賢婦人と言われる。この婦人の墓はみかげ石の柵に囲まれた七十七センチ程の苔むした小さな石碑である。

早くして両親に死別した景綱の親代りとなって養育した喜多子は、景綱が十九才の時に伊達家に仕官させることに成功させ、景綱は十才下の政宗の近習役となり、姉弟協力して政宗の精神的成長に大きな力となった。

又天正十七年、伊達家の興亡をかけた会津芦名家との摺上原の合戦への出陣の際、喜多子は景綱の令名が、この鐘の音のようになびくようにとの祈りをこめて、景綱の馬印として黒釣鐘の旗を贈った。後に片倉家の大馬印となり。又白石市紋章となった黒鐘の生みの親は実に彼女だったわけである。秀吉の天下平定後、京都伏見に居を

「史蹟をたずねて」と題し、本号より十一回にわたって、市史編纂委員として活躍しており、飯沼寅治先生に、お忙がしいところ、無理に執筆をお願いいたしました。

市史編纂委員 飯沼寅治

少納言喜多子の墓

史蹟をたずねて

白石市史編纂委員 飯沼寅治

◆いつもご苦労さまです◆

ひごろ、市民のみなさまの中間にあって、活躍しておる区長さん方です。

先日開かれた、白石市公衆衛生組合連合会総会の席上で、多年の労苦に対して、市長並びに関係機関より衛生功労者として、表彰を受けました。

こどもとおとなに でっかいプレゼント

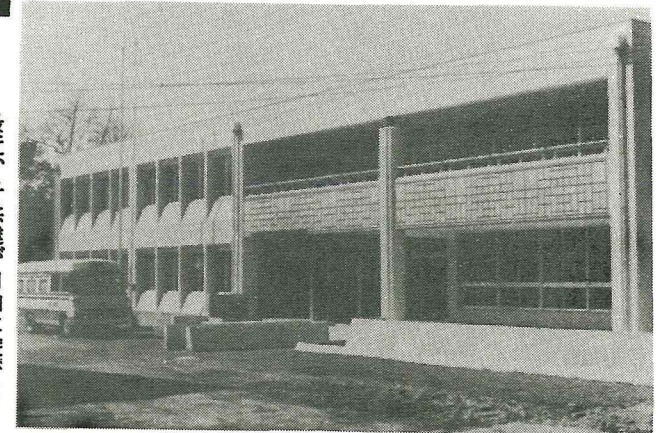
◆児童館・図書館オープン◆



新しい児童館で大よろこび

最近、子供達が自由に遊びまわれる場所が少なくなってきた。共稼ぎ家庭の子供達に夢をあたえ、守ろうと市は「子供の夢の国」づくりに積極的に取り組んでおります。そのプレゼントのひとつに、白石で二つ目の白石第一児童館が完成しました。子供達は、大きく美しい建物に、とまどいを感じたようですが、元気いっぱい遊び、健康な身体をつくり、いろいろな経験の中から次代を担う、若人として成長していくことでしょう。

市図書館は、近代建築の粋を集めた、市民のオアシスにふさわしい建物として、旧館の側に新しく生れかわりました。新図書館は、豊富な蔵書を備え、手にとって好みの本を選べる時間と、広さと施設内容を整え、ゆったりとした閲覧室は、自然採光、電気照明とも目が疲れない工夫がなされております。図書館の第一条件である静かな場所に恵まれ、立地条件もよく白石の文化の殿堂にふさわしく、皆様のお出をお待ちしております。



立派な図書館

参加しましょう!! 6月1日(土)～2日(日)

残雪の南蔵王山開き

日程 6月1日白石駅前観光案内所午後4時20分集合
6月2日京成ロッジ出発(5.30)～垂清沢(6.30)～
花道コース 水引き入道山(10.00)～南屏風岳(11.30)
～京成ロッジ(15.00)～白石着(16.30)
募集人員 30名 会費 3,000円
申込期限 5月15日(但し定員になり次第切)
申込先 白石市観光案内所 TEL⑥-2042

第16回全日本こけしコンクール

昭和49年5月20日(月)～24日(金)5日間
白石市民会館

第1部 伝統こけし(旧型)	第2部 新型こけし
第3部 創作こけし	第4部 木地玩具
第5部 木製こけし応用品	実演展示即売いたします



「人は右、車は左」2対面通行に決まる(昭和24年)



— 6 —